

活動記録「2014年総集編」



地域の声を
集めて県政へ
届けています。



5月11日 日宇川の水辺 完成式



5月31日 世知原じげもん市



7月22日 農家の方々を訪問



西高梨町公民館敬老祝賀会

9月15日 各地区の敬老会へ



10月26日 山手地区徘徊模擬訓練



6月15日 乳がん患者の会 総会



7月26日 須佐神社夏祭り



11月6日 県北地域和牛共進会



5月18日 山田ともこ後援会総会



7月19日 聖和女子学院 同窓会



9月7日 にこにこクリーン佐々



11月23日 みんなの技能のひろば

発行:山田ともこ事務所

〒857-0805 佐世保市光月町8-20

TEL:0956-37-0058

FAX:0956-37-0078

Mail:office@yamadatomoko.com

みなさまの声を聞かせてください!



長崎県議会議員2期目・改革21

山田ともこ だより No.21



子育て
マツサイチュー!!

対話を力に、ぬくもりのある県政。 心と力を尽くして、粘り強く取り組む。

アメブロのほかに
Facebookでも
様々な情報発信を
行っています(^^)/
公式ブログにて、情報発信中!!

《ご挨拶》2015年も宜しくお願い申し上げます。

新年がスタートしました。皆様方にはお変わりなくお元気にお過ごしのことと、心からお喜び申し上げます。早いもので、皆様のご支援により2期目の当選を果たさせて頂き4年が過ぎました。この間、数少ない女性議員として、さらに乳がん治療や子育てを経験している立場から、自分がどのような役割を果たすべきか、毎日考えながら仕事にあたっています。

び、現場の声を議会活動に活かすべく、防災士の資格を取得しました。また、保護士として更生保護活動にも取り組んでおり、NPO法人の理事としてこの8年間取り組んできた障がい者の就労支援も私のライフワークとなっています。これからもしっかりと女性・母親の視点で知事への質問、政策提案を行い、現場の声を県政に届けて参ります。

母親の立場で、現場の声を届ける

昨年は、女性議員としての役割と責任、取り組むべき課題により多く向き合った1年でした。議会におけるセクハラやしが大きな社会問題となり、佐世保の同級生殺害事件は、子どもたちのこころの問題、児童相談所や行政の対応のあり方を社会に問いかける事件となりました。いまだに女性が受ける妊娠・出産・子育ての際の差別、児童虐待の相談件数や学校に通えない子どもの数の増加、子どもの貧困率の上昇など、看過できない課題ばかりです。また、現場で専門知識を学

ぬくもりのある県政を目指して

私は、弱い立場にある人をいたわり、ぬくもりのある政治を目指します。子どもを生き育てられる環境を整備し、地域の防災力を高めると共に、誰もが安心して暮らせる医療・福祉をつくるのが私、山田ともこの使命です。今後とも諸先輩方のご指導を仰ぎながら、引き続き、県民の皆さんと触れ合い、語り、懸命に働いて参る所存でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

長崎県議会議員 山田ともこ

山田朋子(やまだともこ)の略歴

- 《お私たち》
- 昭和47年4月6生まれ(現在42歳)
- 佐世保市立小佐世保小学校、佐世保市立旭中学校、私立聖和女子学院高校、佐賀短期大学 食物栄養学科
- メーカー系商社に勤務したのち、平成16年より山田正彦(父)衆議院議員秘書
- 平成19年 長崎県議会議員初当選 (任期中に乳がんを患うも手術・治療をへて職務復帰)
- 平成23年 長崎県議会議員2期目当選
- 《現在》
- 長崎県議会議員(総務委員長など歴任)
- 防災士 ○社会福祉法人親愛会理事
- NPO法人だるま会理事 ○NPO法人葵会理事
- 学校法人聖和女子学院評議員 等
- 自宅は佐世保市須佐町、息子は中学2年生

対話集会を各地で開催

2014年8月8日 県政報告会(日宇1・2組公会堂)	2014年9月6日 県政報告会(須佐団地集会所)
2014年6月27日 県政報告会(相浦地区公民館)	2014年7月30日 県政報告会(JA佐々支店)

がんと闘い 対策条例化

「がん対策推進条例」が、長崎県議会に提出された。がん対策推進条例は、がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。がん対策推進条例は、がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。

がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。がん対策推進条例は、がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。

がんは、がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。がん対策推進条例は、がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。

がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。がん対策推進条例は、がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。

がん対策推進条例案可決 超党派の女性議員立案 今年手術の山田議員ら4人



がん対策推進条例の可決後、条例をPRするピラを配る山田議員ら

がん対策は私のライフワークです!

二十五日の県議会最終本会議で可決成立した県がん対策推進条例は、自民・県民会議、改革21、創英会、共産の女性議員4人が超党派で立案。改革21の山田議員は、今年五月にがんを手術したばかりだった。



県議らが街頭でがん対策をPR

がん対策推進条例は、がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。がん対策推進条例は、がんの早期発見と治療を盛り込んだ条例が、長崎県議会に提出された。

2014年12月3日 県議会一般質問の主な内容

知事「外部の意見尊重」
児相相談放置 県議会で見解

佐世保市の高1女子同級生殺害事件を受けて、二度と同じ悲劇を繰り返さないために、「児童相談所の増員と職員のスキルアップ」を求めました。また、県の第三者委員会で職員間のパワハラと事件の関係性が指摘されたことを念頭に、「県民への情報開示と再発防止」を要望。児童相談所のあり方について、知事と議論しました。

児相の充実 徹底議論を

児童相談所の増員と職員のスキルアップを求めました。また、県の第三者委員会で職員間のパワハラと事件の関係性が指摘されたことを念頭に、「県民への情報開示と再発防止」を要望。児童相談所のあり方について、知事と議論しました。

質疑の内容が、テレビや新聞で取り上げられました!

児童相談所の増員と職員のスキルアップを求めました。また、県の第三者委員会で職員間のパワハラと事件の関係性が指摘されたことを念頭に、「県民への情報開示と再発防止」を要望。児童相談所のあり方について、知事と議論しました。



佐世保市での高1女子同級生殺害事件を受けて、二度と同じ悲劇を繰り返さないために、「児童相談所の増員と職員のスキルアップ」を求めました。また、県の第三者委員会で職員間のパワハラと事件の関係性が指摘されたことを念頭に、「県民への情報開示と再発防止」を要望。児童相談所のあり方について、知事と議論しました。

☆そのほかにも…

- 女性・子ども・障がい者を守る取組み…性暴力被害者対策、学童保育、里親支援、障害者総合支援法
- 県民の命を守る取組み…板山トンネル建設促進、シェイクアウト訓練の実施、原子力艦船の安全対策
- 更生保護の取組み…協力雇用主の拡大

などについて質問しました!

様々な現場から声を聴き、県政に届けるのが議員の役割。「現場主義」「政策提案」が私の議員活動の基本理念です。

学童保育



高まる学童保育の役割、「保育」の視点を大切に!

2014/6/17 学童の皆さんと意見交換

- 小学校に通う共働きや1人親家庭の子どもたちが放課後、指導員のもとで勉強したり遊んだりする学童保育は、保護者の就労形態が多様化する中で、留守家庭の児童の豊かな放課後生活を保障するための施設です。潜在的な待機児童は40万人以上とされ、その必要性は高まっています。
- 私は、学童保育連絡協議会の方々と連携し、県議会で「母子家庭等児童助成事業」「障害児受け入れ促進事業」の県単独補助の存続と、学校の空き教室や敷地の活用、指導員の処遇改善、待機児童の解消等を強く求めています。

里親支援



親と暮らせない子どもたちが県内に600人近くいます。

2013/9/14 長崎新聞

専門性求められる傾向

- 何らかの事情で家族と暮らせない子どもたちが県内に600人近くいます。そんな子どもたちに寄り添い、成長を見守っているのが里親さんです。県内には99の里親登録世帯があり、そのうち33世帯が養育に取り組んでいます。
- そんな中、虐待経験や障がいを持つ子どもが増えたことにより、より高い専門性が里親さんに求められることとなりました。私は県議会で里親さんの現状を知事に伝え、14年度より「里親育成センター」の設置と支援相談員の数を増やすことが出来ました。里親の委託率、養育力の向上へ一歩前進!

防災対策



県議会総務委員長として防災基本条例を制定!

2014/7/26 県の防災シンポジウムに登壇

2013/1/24 長崎新聞

県防災月間

- 近年、全国的に猛威を奮っている地震や火山噴火、異常気象等から県民の暮らしを守るため、県議会総務委員長として条文作成に取り組んだ防災基本条例が2013年4月より施行されました。毎年7月を防災月間に設定し、防災・減災の取組を促しています。

要望活動



どんな要望にも駆けつける、県政との架け橋です。

2014/11/5 佐々町市瀬地区の歩道整備

2014/10/10 防災で相浦川の河川整備

- 地域からの要望やどんな小さな相談でもすぐに駆けつけ、話を聴かせて頂き、現場の視察と行政への働きかけを行っています。
- 身近な地域のこと、県政全般に関することなど、ご要望やご意見がございましたら、お気軽に事務所までご連絡ください。

観光振興



長崎県の産品を海外へ! 海外の観光客を県内へ!

2013/3/1 中国東方航空本社(上海)

- 長崎～上海間の週3便化の実現と、世界全480路線の機内誌に長崎県の観光案内の掲載依頼を行うため、単独上海へ。観光案内の掲載は実現が決まり、世界で唯一長崎県のみ無料で掲載となりました。日中関係が冷え込む中で、長崎モデル構築の大きな希望となる出張でした。表紙は佐世保の九十九島に決定!!
- 当日は長崎県上海事務所長と新幹線・総合交通対策課長にも同行して頂き、上海での波佐見焼や壱岐焼酎の販売会、長崎鮮魚フェアなども視察、関係者の皆様と意見交換を行いました。

基地政策



基地との共存共生で地域経済活動を推進!

2014/10/11 基地従業員との定期大会で挨拶

- 佐世保市は、自衛隊や米海軍の基地を有する日本の安全保障政策の一翼を担う街です。とくに米海軍佐世保基地には、軍人軍属家族合わせて5,855人が所属し、約1650人の日本人従業員が働いています。大切な雇用の場です。
- 基地が1年間でもたらす県内への経済効果は、自衛隊の716億円と米海軍の123億円、計839億円にもなります。人口減少社会にあって、基地との共存共生による地域経済の活性化は必要不可欠です。基地従業員の雇用の安定と労働環境の改善、基地経済活動の推進に取り組んでいます。